

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 9日 更新

事務事業名		人権フェスティバル開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	田中 政吉
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	坂井 修
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	啓発教育班	(内線)	5332
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 8	事業連番 11511	根拠法令		
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合併前に、旧合志町では「合志町人権フェスティバル」、旧西合志町では「人権フェスティバル in西合志」として開催していた。合併後も、合志市人権フェスティバルとして平成18年度から毎年開催。(平成21年度は、インフルエンザ流行のため中止)平成21年4月に、人権フェスティバル実行委員会設置要綱、会計規程を制定し、一般会計から会計処理ができるようにした。人権フェスティバル実行委員会委員を組織している。(25名・任期2年間)令和5年度より人権啓発事業に統合。
【業務の流れ】	人権フェスティバル実行委員会委員を選任する。同実行委員会(小委員会)会議の開催、運営、人権フェスティバルの開催(会場設営、職員の業務要員としての配置事務、プログラム作成、講演者依頼、必要物品の購入)、展示ギャラリーでの人権作品展示
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小し12月に人権フェスティバルを開催し、講演会の動画配信を行った。 令和4年度：736人(動画視聴回数530人+講演会来場者数206人) 令和3年度：247人(動画視聴回数136人+講演会来場者数111人)	新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小し12月に人権フェスティバルを開催し、講演会の動画配信を行った。 令和4年度：736人(動画視聴回数530人+講演会来場者数206人) 令和3年度：247人(動画視聴回数136人+講演会来場者数111人)	第18回合志市人権フェスティバルを開催予定。 令和5年度より人権啓発事業に統合。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人 ア:人権フェスティバル参加者数 イ:	予算の主な増減の理由 人権啓発事業へ統合することによる事業費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民、小中学生、PTA、教職員、幼稚園・保育園園児、保護者、職員、市内従業者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 ア:合志市人口 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	部落差別をはじめあらゆる差別をなくし明るいまちづくりを目指す。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)% ア:人権フェスティバルに参加して、アンケートに「よかった」と回答した割合 イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 人権フェスティバルに参加してもらい、市民の人権意識を高めることは、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし明るいまちづくりにつながる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込	
①	活動指標	人	1,400	247	1,200	736	1,200	1,200	1,200	1,200	
②	対象指標	人	63,189	63,841	64,614	64,614	65,500	66,391	67,270	68,688	
③	成果指標	%	0	99	100	90	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	211	348	398	344	398	398	398	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	260	34	739	100	739	739	739	
		(A)事業費計	千円	471	382	1,137	444	0	1,137	1,137	1,137
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	8	8	55	17	55	55	55	55
人件費	延べ業務時間	時間	720	298	1,089	270	1,089	1,089	1,089	1,089	
	(B)人件費計	千円	2,838	1,165	4,338	1,027	4,338	4,338	4,338	4,338	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,309	1,547	5,475	1,471	4,338	5,475	5,475	5,475	

事務事業名	人権フェスティバル開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により参加者を縮小して人権フェスティバルを開催した。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 今年度はアンケート調査をし90%の人が大変良かった若しくは良かったとの回答だったので来年度も達成見込み有り。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 参加者が来年もまた参加したくなるような内容にしていかなければならない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減すると、内容が少なくなり啓発が充実しなくなる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務の内容的にも委託等にするより職員で事務をした方が経費が少なくて済むため、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 人権フェスティバルは市民が対象であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 委託等にするより、職員で事務をした方が効率的で経費が少なくて済む。

3 評価結果の総括 (CHECK)

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加者を限定し206人の参加者が集まった。アンケート回答は166人中93%が「大変良かった」若しくは「良かった」との回答で啓発は概ね成功した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 コロナ禍で事業を縮小しフェスティバルを開催した。令和5年度以降は縮小せずに集客したイベントを開催する予定であるので、感染症対策を行いつつ、集客人数の推移を見つつ、イベントの宣伝をおこなう。																						